Creative Enzymes®

ネイティブフラボバクテリウム・メニンゴセプティカム グリセロールキナーゼ

Cat. No. NATE-1155

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明	グリセロールキナーゼの活性は自然界に広く存在します。微生物では、GKはグリセロールを炭素源として利用することを可能にします。哺乳類では、この酵素は糖と脂肪の代謝の接点を表しています; この酵素は、グリセロールの定量において臨床化学者にとって重要です。GKはまた、グリセロールへの定量的還元後のグリセルアルデヒドおよびジヒドロキシアセトンのアッセイにも有用です。
用途	トリグリセリドの測定に役立ちます。
別名	グリセロキナーゼ; GK; ATP: グリセロール-3-リン酸転移酵素; グリセロールキナーゼリン酸化; グリセリンキナーゼ; EC 2.7.1.30

製品情報

由来	フラボバクテリウム・メニンゴセプティクム
外□	白から淡い灰色がかった白の非晶質粉末、凍結乾燥された。
形態	フリーズドライパウダー
EC番号	EC 2.7.1.30
分子量	150 kDa (TSK G3000SWXL) 50 kDa (SDS–PAGE)
活性	70 U/mg以上の固体
混入物	ヘキソキナーゼ < 0.05%; カタラーゼ < 0.1%; ATPアーゼ < 0.01%; ミオキナーゼ < 0.05%
等電点	4.3
pH安定性	5.0–11.0
最適pH	8
熱安定性	60°C以下で安定
最適温度	80°C
ミカエリス定数	グリセロール 8.8 × 10-5M ATP 3.0 × 10-5M
単位定義	1ユニットは、アッセイ手順で指定された条件下で、37°Cで1μモルのグリセロールをグリセロール–3–リン酸に□換する酵素の量として定義されます。

保管・発送情報

保存方法	-20°Cで乾燥剤を使用して保管することが推□されます。